

新たな時代の流れを力に変えて スマートシティの深化・浸透（岡崎スマートコミュニティ協議会）

■ 都市課題

公共投資が概成し民間投資の活発化
→“誘導促進の引力”
“誘導方向性の道標”

■ 解決方策

スマート技術や蓄積データの活用
□ 引力 ← 快適・安全・集客データ
□ 道標 ← 低炭素化・高質・効率化

■ KPI

□ シェアリングモビリティ年間利用回数: 3,000回増
□ 民間再開発検討件数: 累計3件
□ 遊休不動産活用件数: 累計30件

■ 実証実験の概要・目的

スマートサービス×データ活用＝低炭素＋α：まちなか公共空間の民間活用が活発化する
対象地区において、ロケーション種別ごとにエネルギー需給の最適化をきっかけに、多面的課題を解決する実証実験

■ 実証実験の内容

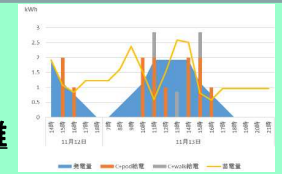
スマートサービス×データ活用＝低炭素＋α：まちなか公共空間の民間活用が活発化する対象地区において、ロケーション種別ごとにエネルギー需給の最適化をきっかけに、多面的課題を解決する

| ロケーション | エネルギー | | 多側面課題解決 | データ解析で深化・実装へ |
|---|--|---|--------------------------------------|--------------|
| | サービス(需要) | 供給 | | |
| 電源なし  | バックヤードモビリティ  | 可動カーポート発電  | イベント運営の ・低炭素化 ・省力化 | データ解析で深化・実装へ |
| 電源あり(低圧)  | プロジェクションマッピング  | EV  | 電力不足時の ・低炭素化 ・電力増強 | |
| 電源あり(高圧)  | 回遊支援モビリティ  | 電源切替・ポート充電  | モビリティ運営の ・低炭素化 ・効率化 ・ユーザー協力 | |

■ 実証実験で得られた成果・知見

【可動カーポート発電】

付属の蓄電機能により、太陽光だけでは不足する時間帯も、各サービスへ供給
→可動カーポートでは費用面で常時導入困難



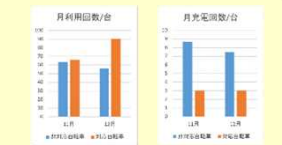
【EV(モバイル電源)】

常設電源(低圧)では不足する電源をEV給電で、CO2ゼロのエネルギーを供給
→イベント時以外の活用検討が必要



【ポート充電】

チャージャー対応自転車の充電回数は非対応自転車の約1/3→省力化効果あり
→次年度以降、順次実装



■ 今後の予定

“スマートシティ×カーボンニュートラル×□□”で実装を進めていく。

得られた課題

- 発電設備設置の検討
- EVの活用用途拡張

今後の取り組み

- 路面型太陽光実証
- 公用車EV化